

令和 3 年度 病院事業決算状況

都道府県名 岐阜県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	岐阜県総合医療センター	2
-	多治見病院	3
-	下呂温泉病院	4
岐阜市	岐阜市民病院	5
大垣市	大垣市民病院	6
多治見市	多治見市民病院	7
中津川市	総合病院 中津川市民病院	8
美濃市	美濃病院	9
羽島市	羽島市民病院	10
恵那市	市立恵那病院	11
恵那市	国民健康保険上矢作病院	12
土岐市	土岐市立総合病院・駄知診療所	13
飛騨市	国民健康保険飛騨市民病院	14
郡上市	郡上市民病院	15
郡上市	県北西部地域医療センター国保白鳥病院	16
下呂市	下呂市立金山病院	17
関ヶ原町	国保関ヶ原病院	18
東白川村	国保病院	19

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		岐阜県	
市町村・組合名			
病院名	岐阜県総合医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	1,978,742
決算規模(千円)	990,811,236
標準財政規模(千円)	499,386,613
財政力指数	0.53634
経常収支比率(%)	84.7
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	128,860			
1 経常収益	128,860			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	128,860			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	128,860			
2 経常費用	128,860			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	54.0
材料費	-	-	25.3	29.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	16.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	13.4
減価償却費	-	-	9.0	8.1
経費	-	-	22.5	19.6
(うち委託料)	-	-	12.5	12.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	128,860			
(うち支払利息)	128,860	-	1.2	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	8,056,859			
経常収支比率	100.0		105.6	105.8
医業収支比率	-		85.1	89.1
修正医業収支比率	-		82.2	86.9
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	8.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	10.4
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	8.2
実質収益対経常費用比率	100.0		93.6	97.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		岐阜県	
市町村・組合名			
病院名	多治見病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	1,978,742
決算規模(千円)	990,811,236
標準財政規模(千円)	499,386,613
財政力指数	0.53634
経常収支比率(%)	84.7
健全化	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
判断比率	
実質公債費比率(%)	6.1
将来負担比率(%)	209.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	35,456			
1 経常収益	35,456			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	35,456			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	35,456			
2 経常費用	35,456			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	54.0
材料費	-	-	25.3	29.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	16.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	13.4
減価償却費	-	-	9.0	8.1
経費	-	-	22.5	19.6
(うち委託料)	-	-	12.5	12.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	35,456			
(うち支払利息)	35,456	-	1.2	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益				
純損益	-			
累積欠損金	1,573,048			
経常収支比率	100.0		105.6	105.8
医業収支比率	-		85.1	89.1
修正医業収支比率	-		82.2	86.9
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	8.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	10.4
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	8.2
実質収益対経常費用比率	100.0		93.6	97.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		岐阜県	
市町村・組合名			
病院名		下呂温泉病院	
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,978,742	
決算規模(千円)	990,811,236	
標準財政規模(千円)	499,386,613	
財政力指数	0.53634	
経常収支比率(%)	84.7	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.1
	将来負担比率(%)	209.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,286			
1 経常収益	10,286			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	10,286			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,286			
2 経常費用	10,286			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	64.0
材料費	-	-	25.3	19.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	9.6
減価償却費	-	-	9.0	9.9
経費	-	-	22.5	28.4
(うち委託料)	-	-	12.5	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	10,286			
(うち支払利息)	10,286	-	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	164,985			
経常収支比率	100.0		105.6	104.2
医業収支比率	-		85.1	81.4
修正医業収支比率	-		82.2	77.7
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	12.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	17.2
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	12.9
実質収益対経常費用比率	100.0		93.6	91.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		岐阜県	
市町村・組合名	岐阜市		
病院名	岐阜市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ト透I未訓カ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	56,541 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	29	指定病院の状況	救臨が 災地 輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	515	86.9	82.4	76.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	62.2	75.7	77.9
感染症	-	-	-	-
計	565	84.7	81.8	76.4
平均在院日数(一般病床のみ)		11.1	11.3	10.6

設立団体の状況		
人口(人)	402,557	
決算規模(千円)	193,507,023	
標準財政規模(千円)	91,049,608	
財政力指数	0.85	
経常収支比率(%)	89.3	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	22,943,484			
1 経常収益	22,943,484			
(1) 医業収益	20,520,988			
(うち修正医業収益)	20,152,150			
入院収益	13,123,207			
外来収益	6,688,707			
診療収入計	19,811,914			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	709,074			
(うち他会計負担金)	368,838			
(2) 医業外収益	2,422,496			
(うち国・都道府県補助金)	478,194			
(うち他会計補助・負担金)	787,129			
(うち長期前受金戻入)	835,363			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	23,034,101			
2 経常費用	22,694,294			
(1) 医業費用	21,413,753			
職員給与費	10,066,765	49.1	60.2	54.0
材料費	6,552,357	31.9	25.3	29.9
(うち薬品費)	4,691,699	22.9	13.3	16.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,840,929	9.0	11.6	13.4
減価償却費	1,519,291	7.4	9.0	8.1
経費	3,194,591	15.6	22.5	19.6
(うち委託料)	2,052,084	10.0	12.5	12.7
研究研修費	63,133			
資産減耗費	17,616			
(2) 医業外費用	1,280,541			
(うち支払利息)	94,765	0.5	1.2	1.0
(3) 特別損失	339,807			
損益	249,190			
純損益	-90,617			
累積欠損金	791,106			
経常収支比率	101.1		105.6	105.8
医業収支比率	95.8		85.1	89.1
修正医業収支比率	94.1		82.2	86.9
他会計繰入金対経常収益比率	5.0		11.3	8.3
他会計繰入金対医業収益比率	5.6		14.9	10.4
他会計繰入金対総収益比率	5.0		11.2	8.2
実質収益対経常費用比率	96.0		93.6	97.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,757,957
1 固定資産	14,859,600
(1) 有形固定資産	14,418,165
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	441,435
2 流動資産	8,898,357
(1) 現金及び預金	5,445,746
(2) 未収金及び未収収益	3,363,684
(3) 貸倒引当金()	19,343
(4) 貯蔵品	108,270
3 繰延資産	-
負債合計	19,383,779
1 固定負債	10,719,332
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,507,732
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,211,600
(7) 一時借入金	-
2 流動負債	4,205,079
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,385,285
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	672,983
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,938,594
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,459,368
(1) 長期前受金	15,197,740
(2) 長期前受金収益化累計額()	10,738,372
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,374,178
1 資本金	4,707,236
2 剰余金	-333,058
(1) 資本剰余金	12,600
(2) 利益剰余金	-345,658
負債・資本合計	23,757,957
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,155,967	1,155,967
資本勘定繰入	1,066,397	1,066,397
計	2,222,364	2,222,364

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	3.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名 岐阜県	
市町村・組合名	大垣市				
病院名	大垣市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	79,046 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨が感災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	857	67.6	65.9	68.6
療養	-	-	-	-
結核	40	20.5	15.9	16.5
精神	-	-	-	-
感染症	6	46.9	43.9	2.0
計	903	65.4	63.5	65.9
平均在院日数(一般病床のみ)		10.7	11.1	10.6

設立団体の状況	
人口(人)	158,286
決算規模(千円)	65,001,547
標準財政規模(千円)	37,885,957
財政力指数	0.86
経常収支比率(%)	82.5
健全化 判断比率	-
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	1.7
将来負担比率(%)	25.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	35,863,734			
1 経常収益	35,863,259			
(1) 医業収益	34,465,503			
(うち修正医業収益)	34,465,503			
入院収益	20,078,830			
外来収益	13,911,993			
診療収入計	33,990,823			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	474,680			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,397,756			
(うち国・都道府県補助金)	937,707			
(うち他会計補助・負担金)	172,730			
(うち長期前受金戻入)	54,270			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	475			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	35,090,803			
2 経常費用	34,740,518			
(1) 医業費用	32,797,348			
職員給与費	14,046,651	40.8	60.2	54.0
材料費	13,325,279	38.7	25.3	29.9
(うち薬品費)	8,576,839	24.9	13.3	16.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	4,583,232	13.3	11.6	13.4
減価償却費	1,531,170	4.4	9.0	8.1
経費	3,798,600	11.0	22.5	19.6
(うち委託料)	2,296,477	6.7	12.5	12.7
研究研修費	66,382			
資産減耗費	29,266			
(2) 医業外費用	1,943,170			
(うち支払利息)	88,004	0.3	1.2	1.0
(3) 特別損失	350,285			
損益	1,122,741			
純損益	772,931			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.2		105.6	105.8
医業収支比率	105.1		85.1	89.1
修正医業収支比率	105.1		82.2	86.9
他会計繰入金対経常収益比率	0.5		11.3	8.3
他会計繰入金対医業収益比率	0.5		14.9	10.4
他会計繰入金対総収益比率	0.5		11.2	8.2
実質収益対経常費用比率	102.7		93.6	97.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	53,272,767
1 固定資産	20,689,599
(1) 有形固定資産	18,483,255
(2) 無形固定資産	444
(3) 投資その他の資産	2,205,900
2 流動資産	32,583,168
(1) 現金及び預金	26,258,722
(2) 未収金及び未収収益	6,022,626
(3) 貸倒引当金()	99,320
(4) 貯蔵品	401,140
3 繰延資産	-
負債合計	11,278,238
1 固定負債	7,223,873
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,054,162
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,042,043
(7) 一ス債務	127,668
2 流動負債	3,297,874
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	265,428
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	848,600
(6) リ一ス債務	67,994
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,090,852
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	756,491
(1) 長期前受金	1,690,268
(2) 長期前受金収益化累計額()	933,777
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	41,994,529
1 資本金	22,325,812
2 剰余金	19,668,717
(1) 資本金剰余金	149,109
(2) 利益剰余金	19,519,608
負債・資本合計	53,272,767
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	439,939	172,730
資本勘定繰入	627,522	166,167
計	1,067,461	338,897

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名		多治見市			
病院名		多治見市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,779 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	30	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	250	73.9	71.6	69.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	250	73.9	71.6	69.7
平均在院日数(一般病床のみ)		13.2	15.3	15.6

設立団体の状況		
人口(人)	106,732	
決算規模(千円)	44,450,340	
標準財政規模(千円)	24,488,390	
財政力指数	0.71	
経常収支比率(%)	85.8	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-4.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	635,388			
1 経常収益	635,388			
(1) 医業収益	90,308			
(うち修正医業収益)	10,724			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	90,308			
(うち他会計負担金)	79,584			
(2) 医業外収益	545,080			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	348,376			
(うち長期前受金戻入)	171,171			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	654,515			
2 経常費用	654,515			
(1) 医業費用	590,355			
職員給与費	-	-	60.2	64.0
材料費	-	-	25.3	19.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	9.6
減価償却費	170,810	189.1	9.0	9.9
経費	418,858	463.8	22.5	28.4
(うち委託料)	13,363	14.8	12.5	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	687			
(2) 医業外費用	64,160			
(うち支払利息)	45,200	50.1	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-19,127			
純損失	-19,127			
累積欠損金	1,687,020			
経常収支比率	97.1		105.6	104.2
医業収支比率	15.3		85.1	81.4
修正医業収支比率	1.8		82.2	77.7
他会計繰入金対経常収益比率	67.4		11.3	12.6
他会計繰入金対医業収益比率	473.9		14.9	17.2
他会計繰入金対総収益比率	67.4		11.2	12.9
実質収益対経常費用比率	31.7		93.6	91.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,218,915
1 固定資産	5,672,084
(1) 有形固定資産	5,545,244
(2) 無形固定資産	2,906
(3) 投資その他の資産	123,934
2 流動資産	546,831
(1) 現金及び預金	546,785
(2) 未収金及び未収収益	46
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,775,937
1 固定負債	3,452,589
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,402,797
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	49,792
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	297,696
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	276,982
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	19,714
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,025,652
(1) 長期前受金	2,813,609
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,787,957
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,442,978
1 資本金	1,693,432
2 剰余金	-250,454
(1) 資本金剰余金	1,436,566
(2) 利益剰余金	-1,687,020
負債・資本合計	6,218,915
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	205,615	427,960
資本勘定繰入	123,813	123,813
計	329,428	551,773

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1868.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名	中津川市				
病院名	総合病院 中津川市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	25,973 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	31	指定病院の状況	救臨 災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	360	65.5	64.9	71.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	360	65.5	64.9	71.2
平均在院日数(一般病床のみ)		12.2	12.2	12.7

設立団体の状況	
人口(人)	76,570
決算規模(千円)	44,148,884
標準財政規模(千円)	24,821,927
財政力指数	0.50
経常収支比率(%)	85.8
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	6.6
将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,264,457			
1 経常収益	9,264,457			
(1) 医業収益	7,654,807			
(うち修正医業収益)	7,495,264			
入院収益	4,957,259			
外来収益	2,212,811			
診療収入計	7,170,070			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	484,737			
(うち他会計負担金)	159,543			
(2) 医業外収益	1,609,650			
(うち国・都道府県補助金)	932,090			
(うち他会計補助・負担金)	573,710			
(うち長期前受金戻入)	34,683			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,786,453			
2 経常費用	8,758,253			
(1) 医業費用	8,371,548			
職員給与費	4,550,626	59.4	60.2	60.7
材料費	1,821,842	23.8	25.3	24.9
(うち薬品費)	872,783	11.4	13.3	12.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	949,059	12.4	11.6	11.7
減価償却費	413,343	5.4	9.0	9.2
経費	1,567,298	20.5	22.5	21.2
(うち委託料)	1,001,807	13.1	12.5	11.9
研究研修費	14,040			
資産減耗費	4,399			
(2) 医業外費用	386,705			
(うち支払利息)	27,266	0.4	1.2	1.3
(3) 特別損失	28,200			
損益	506,204			
純損益	478,004			
累積欠損金	7,132,773			
経常収支比率	105.8		105.6	106.9
医業収支比率	91.4		85.1	85.8
修正医業収支比率	89.5		82.2	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	7.9		11.3	9.7
他会計繰入金対医業収益比率	9.6		14.9	12.7
他会計繰入金対総収益比率	7.9		11.2	9.2
実質収益対経常費用比率	97.4		93.6	96.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,183,930
1 固定資産	4,896,726
(1) 有形固定資産	4,394,660
(2) 無形固定資産	1,801
(3) 投資その他の資産	500,265
2 流動資産	3,287,204
(1) 現金及び預金	1,810,872
(2) 未収金及び未収収益	1,334,316
(3) 貸倒引当金()	1,342
(4) 貯蔵品	143,358
3 繰延資産	-
負債合計	5,121,257
1 固定負債	3,471,593
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,756,867
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,703,895
(7) 一ス債務	10,831
2 流動負債	1,351,782
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	356,519
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	348,284
(6) リ一ス債務	7,209
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	602,317
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	297,882
(1) 長期前受金	959,007
(2) 長期前受金収益化累計額()	661,125
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,062,673
1 資本金	10,169,714
2 剰余金	-7,107,041
(1) 資本金剰余金	25,732
(2) 利益剰余金	-7,132,773
負債・資本合計	8,183,930
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	733,253	733,253
資本勘定繰入	217,509	217,509
計	950,762	950,762

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	93.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名		美濃市			
病院名		美濃病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	14,289 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	122	85.3	85.7	89.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	122	85.3	85.7	89.0
平均在院日数(一般病床のみ)		12.3	12.5	11.8

設立団体の状況		
人口(人)	19,247	
決算規模(千円)	10,641,335	
標準財政規模(千円)	6,198,348	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	88.0	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	26.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,717,329			
1 経常収益	2,717,329			
(1) 医業収益	2,502,908			
(うち修正医業収益)	2,487,043			
入院収益	1,578,437			
外来収益	696,248			
診療収入計	2,274,685			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	228,223			
(うち他会計負担金)	15,865			
(2) 医業外収益	214,421			
(うち国・都道府県補助金)	148,601			
(うち他会計補助・負担金)	39,561			
(うち長期前受金戻入)	9,694			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,661,898			
2 経常費用	2,659,670			
(1) 医業費用	2,514,098			
職員給与費	1,174,062	46.9	60.2	66.7
材料費	303,884	12.1	25.3	17.8
(うち薬品費)	130,021	5.2	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	173,863	6.9	11.6	9.2
減価償却費	214,229	8.6	9.0	10.4
経費	810,968	32.4	22.5	28.7
(うち委託料)	400,451	16.0	12.5	13.3
研究研修費	2,932			
資産減耗費	8,023			
(2) 医業外費用	145,572			
(うち支払利息)	31,805	1.3	1.2	1.3
(3) 特別損失	2,228			
損益	57,659			
純損益	55,431			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.2		105.6	105.7
医業収支比率	99.6		85.1	80.6
修正医業収支比率	98.9		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	2.0		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	2.2		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	2.0		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	100.1		93.6	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,210,783
1 固定資産	4,239,285
(1) 有形固定資産	3,915,127
(2) 無形固定資産	212
(3) 投資その他の資産	323,946
2 流動資産	2,971,498
(1) 現金及び預金	2,620,576
(2) 未収金及び未収収益	349,828
(3) 貸倒引当金()	2,488
(4) 貯蔵品	3,582
3 繰延資産	-
負債合計	3,084,474
1 固定負債	2,478,735
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,478,735
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	485,748
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	257,456
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	74,104
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	154,176
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	119,991
(1) 長期前受金	224,225
(2) 長期前受金収益化累計額()	104,234
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,126,309
1 資本金	3,608,964
2 剰余金	517,345
(1) 資本金剰余金	208,459
(2) 利益剰余金	308,886
負債・資本合計	7,210,783
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	59,016	55,426
資本勘定繰入	221,012	156,644
計	280,028	212,070

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名 岐阜県	
市町村・組合名	羽島市				
病院名	羽島市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	26,158 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	271	60.7	59.2	78.3
療養	-	-	-	-
結核	10	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	281	58.6	57.1	75.5
平均在院日数(一般病床のみ)		11.1	12.8	14.5

設立団体の状況		
人口(人)	65,649	
決算規模(千円)	27,765,276	
標準財政規模(千円)	14,314,590	
財政力指数	0.77	
経常収支比率(%)	87.5	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.9
	将来負担比率(%)	26.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,787,326			
1 経常収益	5,784,814			
(1) 医業収益	4,364,733			
(うち修正医業収益)	4,190,693			
入院収益	2,740,269			
外来収益	1,319,792			
診療収入計	4,060,061			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	304,672			
(うち他会計負担金)	174,040			
(2) 医業外収益	1,420,081			
(うち国・都道府県補助金)	920,175			
(うち他会計補助・負担金)	447,403			
(うち長期前受金戻入)	27,464			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,512			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,809,247			
2 経常費用	5,780,309			
(1) 医業費用	5,510,749			
職員給与費	2,937,200	67.3	60.2	64.0
材料費	784,714	18.0	25.3	19.9
(うち薬品費)	410,768	9.4	13.3	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	366,077	8.4	11.6	9.6
減価償却費	284,699	6.5	9.0	9.9
経費	1,449,933	33.2	22.5	28.4
(うち委託料)	707,708	16.2	12.5	13.7
研究研修費	10,809			
資産減耗費	43,394			
(2) 医業外費用	269,560			
(うち支払利息)	24,927	0.6	1.2	1.3
(3) 特別損失	28,938			
損益	4,505			
純損益	-21,921			
累積欠損金	3,037,401			
経常収支比率	100.1		105.6	104.2
医業収支比率	79.2		85.1	81.4
修正医業収支比率	76.0		82.2	77.7
他会計繰入金対経常収益比率	10.7		11.3	12.6
他会計繰入金対医業収益比率	14.2		14.9	17.2
他会計繰入金対総収益比率	10.7		11.2	12.9
実質収益対経常費用比率	89.3		93.6	91.0

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,485,755
1 固定資産	4,170,299
(1) 有形固定資産	3,820,192
(2) 無形固定資産	323,709
(3) 投資その他の資産	26,398
2 流動資産	1,315,456
(1) 現金及び預金	580,360
(2) 未収金及び未収収益	708,600
(3) 貸倒引当金()	3,944
(4) 貯蔵品	30,440
3 繰延資産	-
負債合計	2,627,673
1 固定負債	1,653,253
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,495,740
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的債務	157,513
2 流動負債	840,809
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	153,035
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	180,308
(6) リース債務	110,024
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	382,945
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	133,611
(1) 長期前受金	409,004
(2) 長期前受金収益化累計額()	275,393
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,858,082
1 資本金	5,886,308
2 剰余金	-3,028,226
(1) 資本剰余金	9,175
(2) 利益剰余金	-3,037,401
負債・資本合計	5,485,755
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	616,443	621,443
資本勘定繰入	79,567	79,567
計	696,010	701,010

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	69.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名 岐阜県	
市町村・組合名	恵那市				
病院名	市立恵那病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	30,063 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	21	指定病院の状況	へ 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	199	58.4	56.1	70.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	58.4	56.1	70.1
平均在院日数(一般病床のみ)		9.0	10.3	12.7

設立団体の状況	
人口(人)	47,774
決算規模(千円)	29,839,454
標準財政規模(千円)	18,176,731
財政力指数	0.45
経常収支比率(%)	81.5
健全化 判断比率	-
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	0.3
将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	424,238			
1 経常収益	422,738			
(1) 医業収益	193,158			
(うち修正医業収益)	6,912			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	193,158			
(うち他会計負担金)	186,246			
(2) 医業外収益	229,580			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	174,431			
(うち長期前受金戻入)	34,129			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,500			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	790,148			
2 経常費用	790,148			
(1) 医業費用	725,577			
職員給与費	15,522	8.0	60.2	66.7
材料費	-	-	25.3	17.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	9.2
減価償却費	540,441	279.8	9.0	10.4
経費	167,413	86.7	22.5	28.7
(うち委託料)	553	0.3	12.5	13.3
研究研修費	632			
資産減耗費	1,569			
(2) 医業外費用	64,571			
(うち支払利息)	30,591	15.8	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-367,410			
純損失	-365,910			
累積欠損金	1,724,195			
経常収支比率	53.5		105.6	105.7
医業収支比率	26.6		85.1	80.6
修正医業収支比率	1.0		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	85.3		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	186.7		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	85.0		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	7.9		93.6	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,363,750
1 固定資産	8,022,421
(1) 有形固定資産	7,201,443
(2) 無形固定資産	323,824
(3) 投資その他の資産	497,154
2 流動資産	3,341,329
(1) 現金及び預金	2,652,536
(2) 未収金及び未収収益	676,729
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	7,064
3 繰延資産	-
負債合計	4,921,255
1 固定負債	3,760,450
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,701,721
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	58,729
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	342,290
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	219,223
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	35,214
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	82,032
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	818,515
(1) 長期前受金	1,683,729
(2) 長期前受金収益化累計額()	865,214
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	6,442,495
1 資本金	8,242,879
2 剰余金	-1,800,384
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,800,384
負債・資本合計	11,363,750
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	215,935	360,677
資本勘定繰入	104,908	193,804
計	320,843	554,481

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	191.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名 岐阜県	
市町村・組合名	恵那市				
病院名	国民健康保険上矢作病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,238 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	救臨 へ 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	56	51.2	62.9	70.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	56	51.2	62.9	70.2
平均在院日数(一般病床のみ)		11.0	11.0	11.6

設立団体の状況	
人口(人)	47,774
決算規模(千円)	29,839,454
標準財政規模(千円)	18,176,731
財政力指数	0.45
経常収支比率(%)	81.5
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	0.3
将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	880,541			
1 経常収益	880,541			
(1) 医業収益	754,819			
(うち修正医業収益)	675,294			
入院収益	341,084			
外来収益	273,276			
診療収入計	614,360			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	140,459			
(うち他会計負担金)	79,525			
(2) 医業外収益	125,722			
(うち国・都道府県補助金)	16,000			
(うち他会計補助・負担金)	103,307			
(うち長期前受金戻入)	2,625			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	912,411			
2 経常費用	912,411			
(1) 医業費用	875,775			
職員給与費	472,807	62.6	60.2	76.8
材料費	149,647	19.8	25.3	14.4
(うち薬品費)	125,922	16.7	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	23,068	3.1	11.6	6.0
減価償却費	51,620	6.8	9.0	11.4
経費	200,193	26.5	22.5	31.5
(うち委託料)	78,113	10.3	12.5	14.5
研究研修費	861			
資産減耗費	647			
(2) 医業外費用	36,636			
(うち支払利息)	1,026	0.1	1.2	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常収支比率	96.5		105.6	103.4
医業収支比率	86.2		85.1	74.3
修正医業収支比率	77.1		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	20.8		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	24.2		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	20.8		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	76.5		93.6	79.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,363,750
1 固定資産	8,022,421
(1) 有形固定資産	7,201,443
(2) 無形固定資産	323,824
(3) 投資その他の資産	497,154
2 流動資産	3,341,329
(1) 現金及び預金	2,652,536
(2) 未収金及び未収収益	676,729
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	7,064
3 繰延資産	-
負債合計	4,921,255
1 固定負債	3,760,450
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,701,721
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	58,729
(7) 一時借入金	-
(8) リリース債務	-
2 流動負債	342,290
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	219,223
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	35,214
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	82,032
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	818,515
(1) 長期前受金	1,683,729
(2) 長期前受金収益化累計額()	865,214
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	6,442,495
1 資本金	8,242,879
2 剰余金	-1,800,384
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,800,384
負債・資本合計	11,363,750
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	177,832	182,832
資本勘定繰入	26,029	26,029
計	203,861	208,861

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	191.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名 岐阜県	
市町村・組合名	土岐市				
病院名	土岐市立総合病院・駄知診療所				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,807 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	350	28.7	30.6	36.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	350	28.7	30.6	36.4
平均在院日数(一般病床のみ)		14.9	16.7	19.0

設立団体の状況	
人口(人)	55,348
決算規模(千円)	24,637,992
標準財政規模(千円)	13,917,469
財政力指数	0.67
経常収支比率(%)	89.8
健全化 判断比率	-
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	5.8
将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	761,301			
1 経常収益	761,301			
(1) 医業収益	4,264			
(うち修正医業収益)	4,264			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	4,264			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	757,037			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	510,526			
(うち長期前受金戻入)	229,011			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	950,177			
2 経常費用	950,177			
(1) 医業費用	714,417			
職員給与費	-	-	60.2	60.7
材料費	-	-	25.3	24.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	12.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	11.7
減価償却費	351,535	8244.3	9.0	9.2
経費	362,831	8509.2	22.5	21.2
(うち委託料)	5,917	138.8	12.5	11.9
研究研修費	51			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	235,760			
(うち支払利息)	25,608	600.6	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-188,876			
純損益	-188,876			
累積欠損金	6,877,365			
経常収支比率	80.1		105.6	106.9
医業収支比率	0.6		85.1	85.8
修正医業収支比率	0.6		82.2	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	67.1		11.3	9.7
他会計繰入金対医業収益比率	11972.9		14.9	12.7
他会計繰入金対総収益比率	67.1		11.2	9.2
実質収益対経常費用比率	26.4		93.6	96.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,152,132
1 固定資産	4,686,942
(1) 有形固定資産	4,658,662
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	28,280
2 流動資産	465,190
(1) 現金及び預金	413,279
(2) 未収金及び未収収益	46,411
(3) 貸倒引当金()	9,500
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,370,444
1 固定負債	1,224,045
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	954,045
(2) その他の企業債	270,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	472,190
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	287,883
(2) その他の企業債	135,000
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	34,307
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	674,209
(1) 長期前受金	1,202,178
(2) 長期前受金収益化累計額()	527,969
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,781,688
1 資本金	9,229,294
2 剰余金	-6,447,606
(1) 資本金剰余金	429,759
(2) 利益剰余金	-6,877,365
負債・資本合計	5,152,132
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	6,876	510,526
資本勘定繰入	121,797	291,169
計	128,673	801,695

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	161289.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名 岐阜県	
市町村・組合名	飛騨市				
病院名	国民健康保険飛騨市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,237 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	15	指定病院の状況	救へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	54	72.7	65.1	66.9
療養	27	75.5	65.9	68.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	81	73.6	65.4	67.6
平均在院日数(一般病床のみ)		14.9	17.9	14.5

設立団体の状況	
人口(人)	22,538
決算規模(千円)	21,733,763
標準財政規模(千円)	11,236,129
財政力指数	0.32
経常収支比率(%)	90.5
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	13.7
将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,615,450			
1 経常収益	1,615,298			
(1) 医業収益	1,197,916			
(うち修正医業収益)	1,159,925			
入院収益	620,890			
外来収益	433,679			
診療収入計	1,054,569			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	143,347			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	417,382			
(うち国・都道府県補助金)	33,735			
(うち他会計補助・負担金)	226,158			
(うち長期前受金戻入)	34,153			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	152			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,601,824			
2 経常費用	1,601,824			
(1) 医業費用	1,419,202			
職員給与費	700,206	58.5	60.2	76.8
材料費	152,220	12.7	25.3	14.4
(うち薬品費)	52,652	4.4	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	96,873	8.1	11.6	6.0
減価償却費	104,734	8.7	9.0	11.4
経費	458,897	38.3	22.5	31.5
(うち委託料)	148,939	12.4	12.5	14.5
研究研修費	1,544			
資産減耗費	1,601			
(2) 医業外費用	182,622			
(うち支払利息)	6,437	0.5	1.2	1.4
(3) 特別損失	-			
経常損益	13,474			
純損益	13,626			
累積欠損金	464,452			
経常収支比率	100.8		105.6	103.4
医業収支比率	84.4		85.1	74.3
修正医業収支比率	81.7		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	16.4		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	22.1		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	16.4		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	84.4		93.6	79.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,343,914
1 固定資産	1,452,948
(1) 有形固定資産	1,452,948
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,890,966
(1) 現金及び預金	1,598,712
(2) 未収金及び未収収益	278,240
(3) 貸倒引当金()	1,050
(4) 貯蔵品	10,064
3 繰延資産	-
負債合計	1,121,241
1 固定負債	431,323
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	431,323
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	380,432
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	56,907
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	55,088
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	262,377
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	309,486
(1) 長期前受金	949,226
(2) 長期前受金収益化累計額()	639,740
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,222,673
1 資本金	2,133,448
2 剰余金	89,225
(1) 資本金剰余金	139,450
(2) 利益剰余金	-50,225
負債・資本合計	3,343,914
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	288,356	264,149
資本勘定繰入	20,685	14,436
計	309,041	278,585

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	38.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名		郡上市			
病院名		郡上市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	15,089 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	11	指定病院の状況	救臨へ		
許可公営企業	許可	看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	108	80.5	84.0	91.1
療養	42	-	58.5	83.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	80.5	76.1	88.8
平均在院日数(一般病床のみ)		14.4	14.2	12.5

設立団体の状況		
人口(人)	38,997	
決算規模(千円)	28,945,016	
標準財政規模(千円)	18,438,308	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	80.9	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.8
	将来負担比率(%)	72.1

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	2,793,069				
1 経常収益	2,791,804				
(1) 医業収益	2,396,892				
(うち修正医業収益)	2,366,904				
入院収益	1,281,599				
外来収益	918,814				
診療収入計	2,200,413				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	196,479				
(うち他会計負担金)	29,988				
(2) 医業外収益	394,912				
(うち国・都道府県補助金)	175,739				
(うち他会計補助・負担金)	174,937				
(うち長期前受金戻入)	24,342				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	1,265				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	3,070,185				
2 経常費用	3,061,750				
(1) 医業費用	2,888,344				
職員給与費	1,596,054	66.6	60.2	66.7	
材料費	404,077	16.9	25.3	17.8	
(うち薬品費)	212,906	8.9	13.3	7.9	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	171,802	7.2	11.6	9.2	
減価償却費	237,943	9.9	9.0	10.4	
経費	643,902	26.9	22.5	28.7	
(うち委託料)	239,043	10.0	12.5	13.3	
研究研修費	2,656				
資産減耗費	3,712				
(2) 医業外費用	173,406				
(うち支払利息)	78,880	3.3	1.2	1.3	
(3) 特別損失	8,435				
損益	-269,946				
純損益	-277,116				
累積欠損金	1,744,943				
経常収支比率	91.2		105.6	105.7	
医業収支比率	83.0		85.1	80.6	
修正医業収支比率	81.9		82.2	76.5	
他会計繰入金対経常収益比率	7.3		11.3	14.8	
他会計繰入金対医業収益比率	8.5		14.9	20.6	
他会計繰入金対総収益比率	7.3		11.2	14.9	
実質収益対経常費用比率	84.5		93.6	90.0	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,067,011
1 固定資産	6,284,014
(1) 有形固定資産	6,279,510
(2) 無形固定資産	3,991
(3) 投資その他の資産	513
2 流動資産	782,997
(1) 現金及び預金	36,748
(2) 未収金及び未収収益	727,003
(3) 貸倒引当金()	23,385
(4) 貯蔵品	41,966
3 繰延資産	-
負債合計	6,136,748
1 固定負債	4,570,634
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,920,049
(2) その他の企業債	624,700
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	25,885
2 流動負債	1,206,739
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	465,020
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	145,383
(6) リ一ス債務	6,891
(7) 一時借入金	194,051
(8) 未払金及び未払費用	389,015
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	359,375
(1) 長期前受金	843,078
(2) 長期前受金収益化累計額()	483,703
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	930,263
1 資本金	3,676,565
2 剰余金	-2,746,302
(1) 資本金剰余金	22,893
(2) 利益剰余金	-2,769,195
負債・資本合計	7,067,011
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	355,554	204,925
資本勘定繰入	186,178	108,066
計	541,732	312,991

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	137,015	4.2
令和元年度	23,719	0.7

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	82.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	583,422
地財法上の資金不足比率(%)	17.2

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名		郡上市			
病院名		県北西部地域医療センター国保白鳥病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,393 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救		
許可公営企業	許可	看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	46	73.2	66.2	55.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	2.5
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	46	73.2	66.2	52.4
平均在院日数(一般病床のみ)		19.8	17.6	13.7

設立団体の状況		
人口(人)	38,997	
決算規模(千円)	28,945,016	
標準財政規模(千円)	18,438,308	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	80.9	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.8
	将来負担比率(%)	72.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,209,347			
1 経常収益	1,207,982			
(1) 医業収益	976,307			
(うち修正医業収益)	965,877			
入院収益	417,392			
外来収益	357,963			
診療収入計	775,355			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	200,952			
(うち他会計負担金)	10,430			
(2) 医業外収益	231,675			
(うち国・都道府県補助金)	47,002			
(うち他会計補助・負担金)	161,316			
(うち長期前受金戻入)	15,056			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,365			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,164,139			
2 経常費用	1,162,455			
(1) 医業費用	1,113,230			
職員給与費	749,053	76.7	60.2	86.6
材料費	98,627	10.1	25.3	12.9
(うち薬品費)	36,818	3.8	13.3	7.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	52,416	5.4	11.6	5.1
減価償却費	45,799	4.7	9.0	12.7
経費	215,438	22.1	22.5	43.7
(うち委託料)	66,851	6.8	12.5	21.5
研究研修費	1,480			
資産減耗費	2,833			
(2) 医業外費用	49,225			
(うち支払利息)	14,714	1.5	1.2	1.2
(3) 特別損失	1,684			
経常損益	45,527			
純損益	45,208			
累積欠損金	1,024,252			
経常収支比率	103.9		105.6	102.4
医業収支比率	87.7		85.1	63.8
修正医業収支比率	86.8		82.2	58.5
他会計繰入金対経常収益比率	14.2		11.3	33.0
他会計繰入金対医業収益比率	17.6		14.9	56.7
他会計繰入金対総収益比率	14.2		11.2	33.3
実質収益対経常費用比率	89.1		93.6	68.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,067,011
1 固定資産	6,284,014
(1) 有形固定資産	6,279,510
(2) 無形固定資産	3,991
(3) 投資その他の資産	513
2 流動資産	782,997
(1) 現金及び預金	36,748
(2) 未収金及び未収収益	727,003
(3) 貸倒引当金()	23,385
(4) 貯蔵品	41,966
3 繰延資産	-
負債合計	6,136,748
1 固定負債	4,570,634
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,920,049
(2) その他の企業債	624,700
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	25,885
2 流動負債	1,206,739
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	465,020
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	145,383
(6) リ一ス債務	6,891
(7) 一時借入金	194,051
(8) 未払金及び未払費用	389,015
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	359,375
(1) 長期前受金	843,078
(2) 長期前受金収益化累計額()	483,703
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	930,263
1 資本金	3,676,565
2 剰余金	-2,746,302
(1) 資本金剰余金	22,893
(2) 利益剰余金	-2,769,195
負債・資本合計	7,067,011
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	193,978	171,746
資本勘定繰入	73,889	68,972
計	267,867	240,718

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	137,015	4.2
令和元年度	23,719	0.7

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	82.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	583,422
地財法上の資金不足比率(%)	17.2

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名	下呂市				
病院名	下呂市立金山病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,954 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救へ輪		
許可公営企業	許可	看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	50	57.5	58.6	60.5
療養	49	41.2	49.0	54.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	49.4	53.9	57.4
平均在院日数(一般病床のみ)		16.8	15.2	13.6

設立団体の状況		
人口(人)	30,428	
決算規模(千円)	27,643,606	
標準財政規模(千円)	14,379,088	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	86.2	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.7
	将来負担比率(%)	10.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,299,814			
1 経常収益	1,299,814			
(1) 医業収益	1,004,147			
(うち修正医業収益)	967,853			
入院収益	490,975			
外来収益	405,317			
診療収入計	896,292			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	107,855			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	295,667			
(うち国・都道府県補助金)	635			
(うち他会計補助・負担金)	266,672			
(うち長期前受金戻入)	21,808			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,440,646			
2 経常費用	1,440,646			
(1) 医業費用	1,380,106			
職員給与費	787,040	78.4	60.2	76.8
材料費	166,734	16.6	25.3	14.4
(うち薬品費)	58,605	5.8	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	105,071	10.5	11.6	6.0
減価償却費	90,100	9.0	9.0	11.4
経費	333,872	33.2	22.5	31.5
(うち委託料)	157,771	15.7	12.5	14.5
研究研修費	1,517			
資産減耗費	843			
(2) 医業外費用	60,540			
(うち支払利息)	15,663	1.6	1.2	1.4
(3) 特別損失	-			
経常損失	-140,832			
純損失	-140,832			
累積欠損金	1,726,322			
経常収支比率	90.2		105.6	103.4
医業収支比率	72.8		85.1	74.3
修正医業収支比率	70.1		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	23.3		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	30.2		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	23.3		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	69.2		93.6	79.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,069,675
1 固定資産	1,851,088
(1) 有形固定資産	1,768,387
(2) 無形固定資産	25,874
(3) 投資その他の資産	56,827
2 流動資産	218,587
(1) 現金及び預金	47,809
(2) 未収金及び未収収益	161,099
(3) 貸倒引当金()	570
(4) 貯蔵品	5,246
3 繰延資産	-
負債合計	2,174,887
1 固定負債	1,412,853
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,213,653
(2) その他の企業債	199,200
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	246,683
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	102,777
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	42,406
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	78,446
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	515,351
(1) 長期前受金	689,507
(2) 長期前受金収益化累計額()	174,156
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-105,212
1 資本金	1,577,524
2 剰余金	-1,682,736
(1) 資本金剰余金	26,366
(2) 利益剰余金	-1,709,102
負債・資本合計	2,069,675
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	105,212
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	483,009	302,966
資本勘定繰入	45,424	46,233
計	528,433	349,199

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	171.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	124,519
地財法上の資金不足比率(%)	12.4

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		岐阜県	
市町村・組合名	関ヶ原町		
病院名	国保関ヶ原病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	6,610	
決算規模(千円)	4,258,046	
標準財政規模(千円)	3,063,558	
財政力指数	0.50	
経常収支比率(%)	79.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.5
	将来負担比率(%)	31.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,410			
1 経常収益	13,410			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	13,410			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,410			
2 経常費用	13,410			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	76.8
材料費	-	-	25.3	14.4
(うち薬品費)	-	-	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	6.0
減価償却費	-	-	9.0	11.4
経費	-	-	22.5	31.5
(うち委託料)	-	-	12.5	14.5
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	13,410			
(うち支払利息)	13,410	-	1.2	1.4
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		105.6	103.4
医業収支比率	-		85.1	74.3
修正医業収支比率	-		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	100.0		93.6	79.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	6,735	-
資本勘定繰入	27,693	-
計	34,428	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		岐阜県	
市町村・組合名	東白川村		
病院名	国保病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	2,016
決算規模(千円)	2,789,847
標準財政規模(千円)	1,790,795
財政力指数	0.16
経常収支比率(%)	88.9
健全化	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
判断比率	
実質公債費比率(%)	14.1
将来負担比率(%)	26.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	176			
1 経常収益	176			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	176			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	176			
2 経常費用	176			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	86.6
材料費	-	-	25.3	12.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	7.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	5.1
減価償却費	-	-	9.0	12.7
経費	-	-	22.5	43.7
(うち委託料)	-	-	12.5	21.5
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	176			
(うち支払利息)	176	-	1.2	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益				
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		105.6	102.4
医業収支比率	-		85.1	63.8
修正医業収支比率	-		82.2	58.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	33.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	56.7
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	33.3
実質収益対経常費用比率	100.0		93.6	68.6

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	115	-
資本勘定繰入	400	-
計	515	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。